



**長野県議会**  
**改革・新風**  
会派だより

第15号 (2015年) 平成27年1月

発行・編集／改革・新風  
長野県庁県議会棟内(026)232-0087  
発行責任者 倉田 竜彦 印刷所 中外印刷KK  
http://www.kaikaku-shinpuu.com

**今年も会派一同がんばります！**



|                       |
|-----------------------|
| 石和 大 (副政策審議会長)        |
| 中川 博司 (副広報企画委員長)      |
| 壘 裕一 (政務調査会長)         |
| 山岸 喜昭 (広報企画委員長)       |
| 下沢 順一郎 (幹事長代理・政策審議会長) |
| 野澤 徹司 (副代表)           |
| 倉田 竜彦 (代表)            |
| 竹内 久幸 (副代表)           |
| 荒井 武志 (副政務調査会長)       |
| 小島 康晴 (幹事長)           |
| 堀場 秀孝 (副政務調査会長)       |
| 吉川 彰一 (財務委員長)         |
| 続木 幹夫 (副広報企画委員長)      |
| 依田 明善 (副政策審議会長)       |

( )内は会派役職

代表年頭之挨拶

長野県議会「改革・新風」  
代表 倉田 竜彦

新春のお喜びを申し上げます。皆様おすこやかに新春をお迎えのことと存じます。

昨年は、県内では大雪、御嶽山噴火、神城断層地震など自然災害が多く、長野県議会も人命第一、そして速やかな復興に向けて努力を続けてまいりました。あらためて被災された皆様にお見舞いを申し上げます。

また、阿部守一知事の二期目の選挙も行われました。知事に対しては「是々非々」の立場でチェック機能を果たすとともに提言を行ってまいります。

本年も、どうぞよろしくお願ひ申し上げます。

**御嶽山噴火災害からの復興と火山の安全対策**

●木曾町、玉滝村による災害復興等のための基金設置への支援  
2億円(企画振興部)

御嶽山の噴火災害への緊急対策や災害からの復興に向けて、地域の実情に応じた弾力的かつ、きめ細やかな対応ができるよう、木曾町と玉滝村による復興基金の創設を支援

**11月定例議会で決められた主な予算**

し、必要な施設・設備の整備などを推進  
・地域医療介護総合確保基金の積立て 15億3千万円余  
・病床の機能分化・連携、在宅医療の充実、医療従事者等の確保・養成など医療提供体制を充実させるための事業 7億4千万円余

**県民生活の安全・安心の確保**

○道路区画線等の塗り替え 債務負担行為 3億1千万円(建設部、警察本部)

○冬期の除雪等で不鮮明となる道路の区画線や横断歩道等の塗り替えを迅速に進めるため、債務負担行為を設定

**神城断層地震災害お見舞い**

11月22日に発生した長野県神城断層地震において被害にあわれた皆様にお見舞いを申し上げます。長野県議会は、仮設住宅の建設費など早期議決を図るとともに、引き続き被災された皆様の生活の復興のため全力をあげてまいります。

また、冬季の観光に影響を及ぼさないよう、議会の立場でも、応援を行います。



**神城断層地震からの復旧・復興のための追加補正予算の概要**

7263万円(建設部)

地震によりひび割れ等の被害を受けた県営住宅の修繕を実施

○応急仮設住宅の設置 2億4千万円(建設部)

住宅に被害を受けた被災者の生活の安定と立て直しを図るため、災害救助法に基づき応急仮設住宅を設置

- ・設置戸数・47戸(建設35戸、民間賃貸住宅の借上げ12戸)

○被災施設の早期復旧 10億6千万円余

(建設部、林務部)

道路、河川、農地、水路、土砂災害発生箇所等の応急対策、復旧工事等を実施

○被災した県営住宅の緊急修繕

●小諸会場

約160人の皆様にお集まりいただき、北陸新幹線延伸に伴う沿線自治体の一丸となった観光振興、県農業大学の活用、高地トレーニングセンター構想の進捗、看護師不足や企業誘致、少子化対策など、多分野にわたるご意見、ご質問をいただきました。

対話集会上に先立つ現地視察では、御嶽山噴火に関連し、小諸市役所で浅間山の火山対策及び防災対策を、小諸高校では県内唯一の音楽科の特色ある活動や課題を調査しました。

また、農業大学校小諸キャンパスでは、地域との連携が問われる中、これまで約5億7千万円の予算で農業機械の充実、ほ場整備、施設改修など充実を図られていることを視察しました。

●青木村会場

25日は、主要地方道丸子信州新線を小型バスで通行し、幅員の狭さなど窮状を實際に確認しながら、青木村役場での対話集会上向かいました。お集まりいただいた村民の皆様からは、国道143号青木峠新トンネルの促進、鳥獣被害対策など、多くの要望と会派への期待が寄せられました。各地の対話集会上でいただいた貴重なご意見等は、今後の議会活動に活かしてまいります。



●上田会場

24日は、動物愛護センターの活動状況や課題、黒耀石体験ミュージアムでの歴史遺産の活用等を調査した後、夕方から約120人の皆様にお集まりいただき対話集会上開催しました。

県営球場のBSOの整備、地域ケアシステムの整備、メガソーラー発電の規制、ラグビーワールドカップのキャンプ地招致の推進、自治医大医師の公平な配置による医師確保、上田バイパスの整備促進、女性が働き続けられる職場環境の整備、間伐の推進等、多くのご意見をいただきました。



県政対話集會3会場にて開催